

片山・岸部地域

<テーマ>
意思決定支援について

<内容>
・成年後見制度の今後の動向について（けんりサポートより講演）
・ご本人らしい意思決定について（グループワーク）

<開催>
2025年8月22日（金） 参加者：25名

意思決定について

私たちは、
「誰かに決められるのではなく、自分で決めて、
自分らしい生活をしていきたい」と思っています。
『意思決定』という事では、誰もが当事者。

年齢に関わらず、
障がいがあっても、認知症になっても、子供でも
誰もが自信と誇りをもって、自分の思いを話し、
心からの希望に基づいて
意思決定したいと思っています。

意思決定でご本人の置かれている状況について

<支援者等>

ご家族
福祉サービス事業者
行政 医療
成年後見、金銭管理など

「良かれと思って」周囲の人が決める。
力関係が働く。意思決定に影響力。
所属組織の中でしか考えられない。
「何かを決めないといけない」思い込み。

悩みながら、意思決定支援をしている。

<ご本人>

支援者等には言いにくい。
諦め。
不安やおそれ。
支援者等が好む返答をする。

ご本人の思いに寄り添う。
何かを決めなくてもよい。
ともに考え、ともに悩み、
ともに笑う。

地域の中で当たり前にしていく仕組み。

全体会でご検討いただきたい事

<ご本人らしい意思決定につなげる手法として、フォロワーシステムの検討>

フォロワーシステムはSDM-Japan（日本意思決定支援ネットワーク）が提案。
（詳しくはフォロワーブックを参照）

意思決定支援の第一歩は、「あなたの事をもっとよく知りたい」という気持ち。

吹田にフォロワーシステムがあればどのような社会になるでしょうか。

「フォロワー導入講座」を全体会で行ってもよいかもしれません。